

《RNNヒーリングコンサートⅧ 曲目と解説》

1. クルアーン朗誦(イスラーム)

◎「第89章(アル・ファジュール)」より

イスラームにおいては、基本的には音楽や踊りでアッラーを讃えたり、まつったりすることはいたしません。信者たちは一日に五回の礼拝をおこない、アッラーから下された聖なる言葉を集めたクルアーンを、韻律美しく朗誦することで心の平安、「サラーム」を得るのです。今回は、最初期に下された啓示の一つである第89章(アル・ファジュール)を聞いていただきます。ファジュールとは暁のことです。本章は、夜の暗黒が終わり、朝の最初の光がさす神秘的な時間についての言及から始まり、人間の高慢さを戒め、善行をすすめ、来世への信仰を教えています。読誦のあとは礼拝の仕方もご覧ください。礼拝の際には、すべての信者が世界中どこにしようともメッカの方角に向かって祈ります。そのためのコンパスもあり、この会場でもそれで方角を決めています。最初にクルアーンの第一章と、その他二つの任意の章を唱え、その後体を90度前に倒し、さらに床にひたいをつけます。一日五回の礼拝は、願い事のためというよりはむしろ、アッラーの前に立ち、自らの信仰を確認し、日々の小さな罪を清める行為なのです。

「神に語りかけたい者は礼拝を捧げ、神に語りかけられることを欲する者はクルアーンを読誦せよ。」

出演者：前野直樹、河田尚子

2. 吉備楽(金光教)

◎「今日の月」

金光教では、祭典楽として、明治初頭に岡山で生まれた「吉備楽」と大正時代に金光教初代楽長により創作された「中正楽」を使用しています。とりわけ「吉備楽」は120年ほど前から祭典に用いられ、今日まで、その技を継承しています。「憂しと見し 雲もいつしかかき消えて 光さやけき 今日の月かな」

うっとおしく思っ見ていた雲も、いつの間にか消えてしまい、空にはくっきりと月が出ている、という秋の夜を詠んだ歌に、舞が付随した吉備楽の小品です。秋の夜の清明な空気感をお楽しみください。

出演者：金光教典楽会東中国支部

舞人／成田美紀 箏・歌／三好和子、中村文子、永原瑞枝 笙／蜂谷保夫 篳篥／岡田信義
龍笛／永原晃二郎

3. 声明(天台宗)

◎六道講式より「人道」

◎天台大師御影供より「画讃」(序曲、定曲)

声明とは、お経の文句にメロディの付いたものです。天台声明は、京都・大原エリアを源流とし、約1200年の歴史があります。音楽的には、洋楽の長調・短調のように律・呂あり、12律に基づいた楽理あり、ゆったりと唱える「序曲」、拍子感のある「定曲」があります。言語的には、「梵語讃」、「漢語讃」、「和讃」の3種あります。

本日は、まず、浄瑠璃、義太夫などのルーツとも理解出来る講式「六道講式」から「人道」【和讃】を独唱します。

次に「天台大師御影供」より「画讃」【漢語讃】の「序曲」と「定曲」を一部お唱えいたします。

出演者：岡山天台声明研究会

永宗幸信、兒玉亮秀、小林周伸、長道圓俊、藤村憲龍、今井龍典

木村真尚、田中孝惺、北野恵祥、草地圓正、今井龍晋

4. グレゴリアン聖歌(カトリック)

◎「Veni Creator」

聖霊の続唱(聖霊が皆の上に降り、皆の心を豊かにしてくださるようにと祈る歌です)

◎「Sequentia」

復活の続唱(キリストの復活をたたえる歌です)

◎「Salve Regina」

マリア賛歌(暁の祈りの後に歌われます)

出演者：ロジェ バン・テ・ワーレ、アンリ バティバンガ チボタ、サシ マイエンダ バルテレミ、金起螢、李尚潤

豊田尚臣、瀧井英昭、野下千年、久志利津男、下窄英知、橋本勲、ヨハネ グエン クアントゥアン

5. 御詠歌(真言宗)

◎「いろはうた」

いろは匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならん
有為の奥山 今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず

金剛流において「いろはうた」は、弘法大師空海の御作、諸行は常ならず、人間の可能性は無限であると詠まれたものとされます。

◎「相互供養和讃」

一樹の蔭の雨宿り 一河の流れ汲む人も 深き縁の法の道 歩むに遠き行手をば
情けに包む人の慈悲 供うる人も受くる身も 共に仏の御光を 受けて輝く嬉しさに
施主の功德を称えつつ 御名唱えて報いなん 南無大慈如来尊 南無大師遍照尊

救いというものは、決して施す側と受ける側だけの関係ではなく、施す側にも救いがあり、受ける側だけが救われるのではない。相互に助け合い、供養し合う中に、神仏の光の実現、この世を遍く照らす弘法大師空海の「遍照」という生き方があります。

出演者：高野山金剛流御詠歌合唱団

荒城祥善、長田伸弘、河本慶圓、滝山光俊、新後純之、橋本永諄、宮本龍門、本山泰基、若松慶隆

6. 吉備楽(黒住教)

◎家庭楽「宝田」

米を作る田に、鶴が舞遊ぶ姿をうたった曲で、国家安泰、五穀豊穰、長寿繁栄のしるしとして演奏されます。

歌詞「大君の大君の底多から田の初春に 先すなく田つ声のゆたけさゆたけさ 大君の底多から田の初春に 先す鳴く田つゆたけさ」(楽譜原文のまゝ)

出演者：黒住教奏楽寮

太鼓／近藤嘉寿子 鉦鼓／宇垣三枝子 箏／小野盛孝、小野景子、矢野厚子、津田ひとみ
笙／島村紀子、小橋秀子 篳篥／山田貫助、竹内伸悟 横笛／小野彰盛、松川明生 舞／西嶋裕子

7. 「PEACE」の独唱 栗木深香(ソプラノ) 来場者もご一緒に

「PEACE」は、「RNNヒーリングコンサートⅧ」の際、「祈り」の歌を公募した中から最優秀賞の作品に曲を付けたものです。

◎RNN「祈り」の歌 「PEACE」 詩：田淵明美・曲：中村直樹

1. ピース 地球上の合い言葉 忘れないでかならず叶うから
世界中の子どもたちの心の底にある 大切な合い言葉は PEACE
空を飛びかう鳥たちも 本当の意味を知ってる
つないだその手をはなさず ずっと握っていると
合い言葉が心の底で目を覚ます その瞬間をつくりあげよう

2. ピース 地球上の合い言葉 祈ろうよかならず叶うから
世界中の人々の心の底にある 大切な合い言葉は PEACE
海の中の魚たちも 本当の意味を知ってる
つないだその手をはなさず 心をつなげば
合い言葉が心の底で目を覚ます その瞬間をつくりあげよう

3. ピース 地球上の合い言葉 願おうよかならずかなうから
世界中の生き物の心の底にある 大切な合い言葉は PEACE
大地を駆ける動物たちも 本当の意味を知ってる
つないだその手をはなさず ずっと握っていると
合い言葉が心の底で目を覚ます その瞬間をつくりあげよう